

auカブコム証券株式会社


2021年3月期 第2四半期

決算説明資料

2020年10月26日



au カブコム証券

A member of  MUFG

MISSION

すべてのひとに資産形成を。

資産形成が求められる時代に、
機関(プロ)と個人の垣根を越えて、
すべてのひとが、もっと自由で豊かな投資活動が出来る様にします。

Management Vision

ONE AND ONLY

先進性、多様性ファースト。

常にデジタル・トランスフォーメーションし続ける先進性と
変化が激しい時代に対応する多様性を発揮し、
お客さまの投資成績向上を徹底追求します。

3社の強みで、生み出す。

総合金融機関としてのMUFGの信頼、
au・KDDIの持つスマホ経済圏、
そしてIT証券黎明期から脈々と培われたカブコムのデジタルテクノロジー。
タッグを組んだ3社の強みで「他に無い」サービスを生み出します。

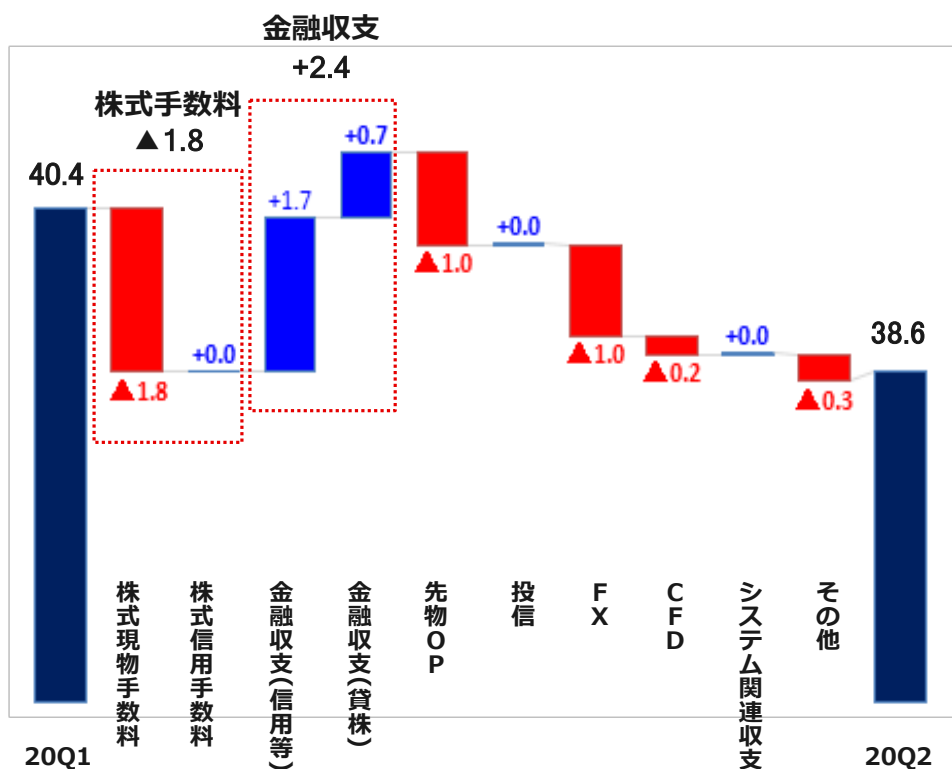
- 株式市場の活況に一服感。トップラインは20Q1比▲3.1億円、▲6.4%
- 販管費は、貸倒引当金繰入（20Q1は6.8億円）の差を主因に20Q1比▲8.8億円、▲22.3%
- 収益減収も経費減少が上回り、経常利益は20Q1比+7.0億円
当期利益も20Q1比+8.0億円（20Q1は貸倒引当金（有税）に加え準備金の積み増しあり）

(億円)	20Q1	20Q2	増減額	増減率
営業収益	49.4	46.2	▲3.1	▲6.4%
純営業収益	40.4	38.6	▲1.8	▲4.5%
販管費	39.9	31.0	▲8.8	▲22.3%
営業利益	0.5	7.6	+7.0	-
経常利益	0.6	7.6	+7.0	-
当期純利益	▲2.7	5.2	+8.0	-
市場(億円)				
株式等個人委託売買代金/日 前Q比(前四半期比較)	14,992	13,335	▲1,657	▲11.1%
信用買残高/週次平残 前Q比(前四半期平均比較)	19,872	22,783	2,911	+14.6%

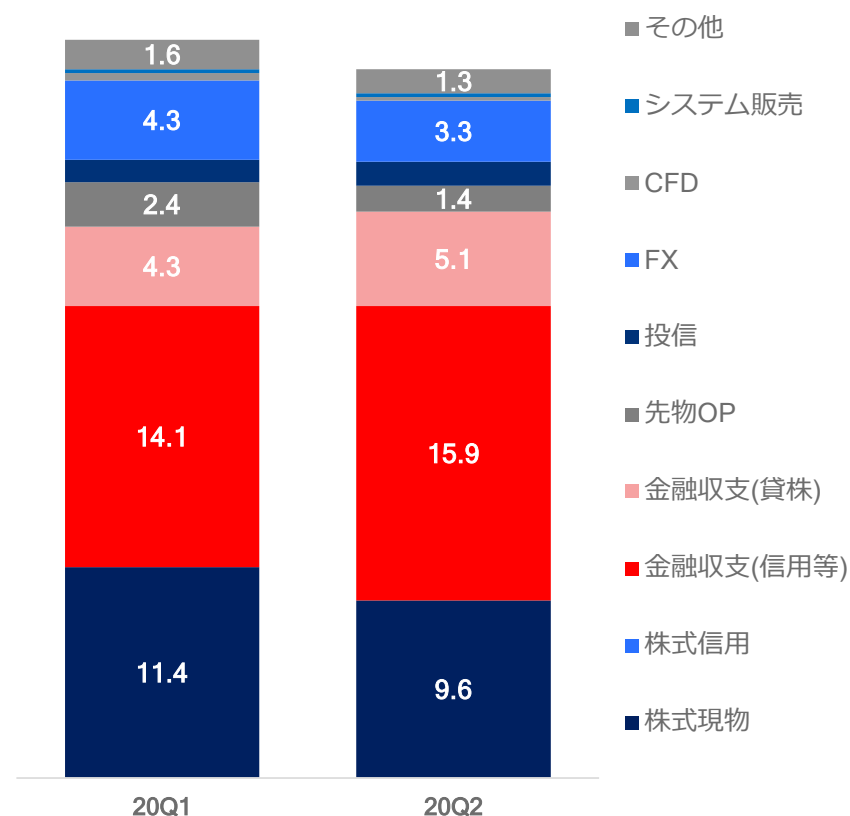
純営業収益(20Q1対比)

- 営業収益に連動して、純営業収益は▲1.8億円
- 但し、株式の手数料収入が伸び悩むも、金融収支（信用・貸株）は+2.4億円と好調を維持

純営業収益増減内訳(億円)



純営業収益内訳構成(億円)

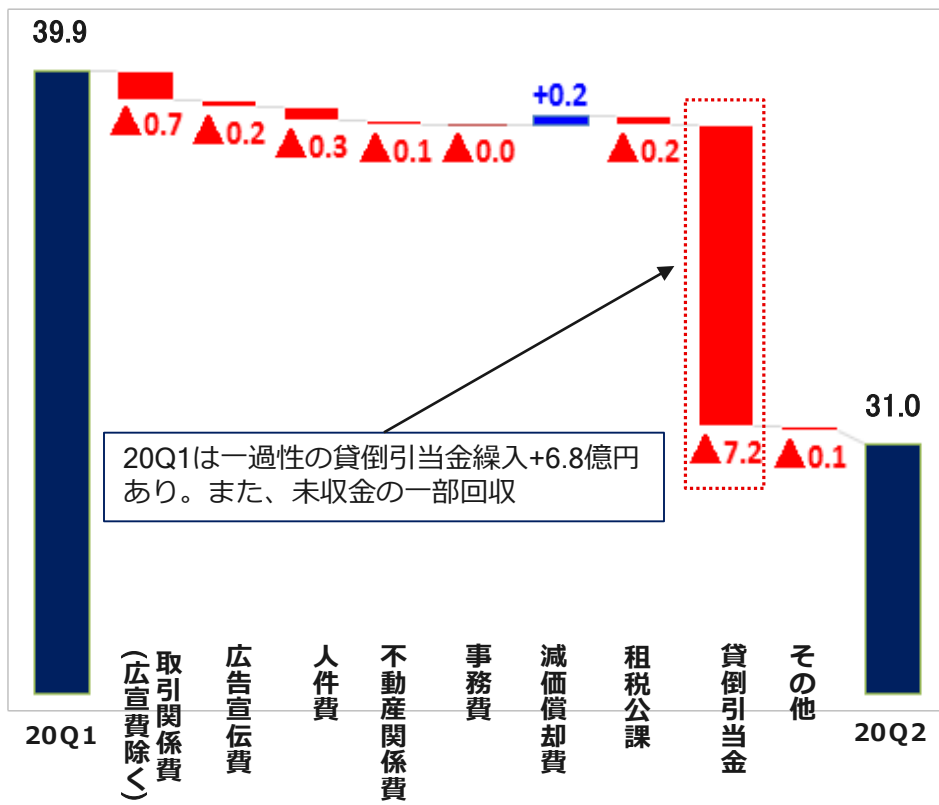


※ 第二小数点以下切捨のため、増減は完全に一致はしない

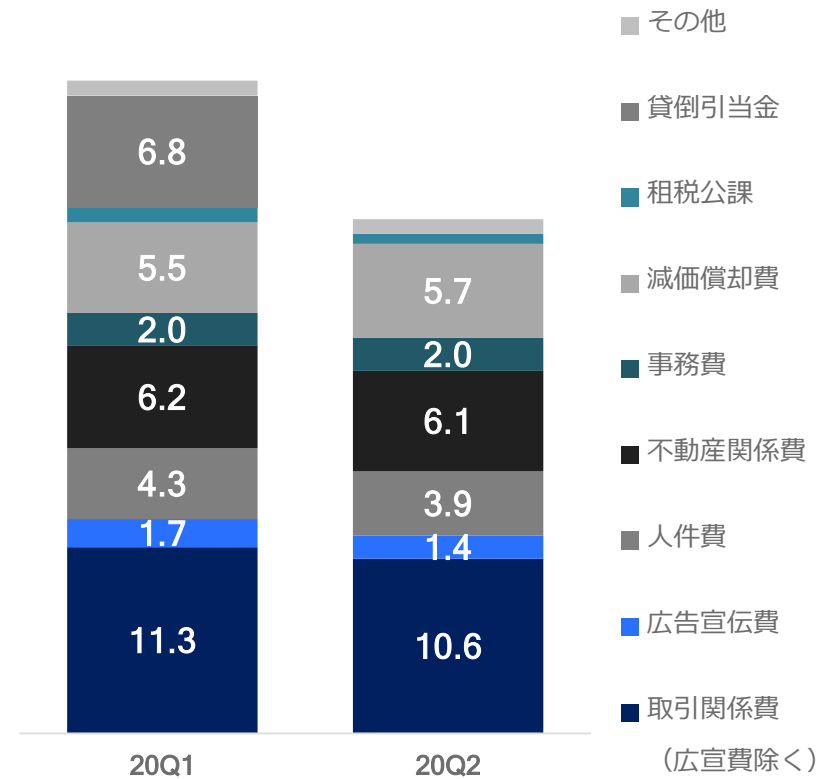
販管費(20Q1対比)

- 市況一服に伴う取引量減少により、取引関係費が減少。また、他の販管費も抑制実施
- 全体で20Q1比▲8.8億円の減少。但し、20Q1の貸倒引当金繰入+6.8億円との差が大きい

販管費増減内訳(億円)



販管費内訳構成(億円)



※ 第二小数点以下切捨のため、増減は完全に一致はしない

※ 不動産関係費 = 不動産費(支払家賃) + 器具備品費(システム経費)。減価償却費は、システム投資によるものが主

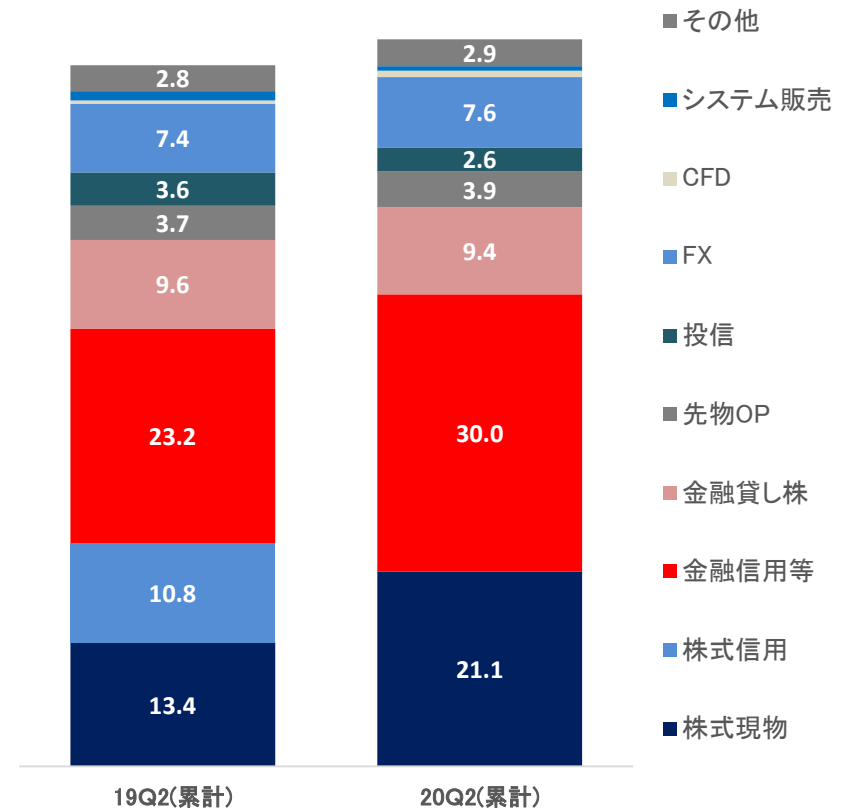
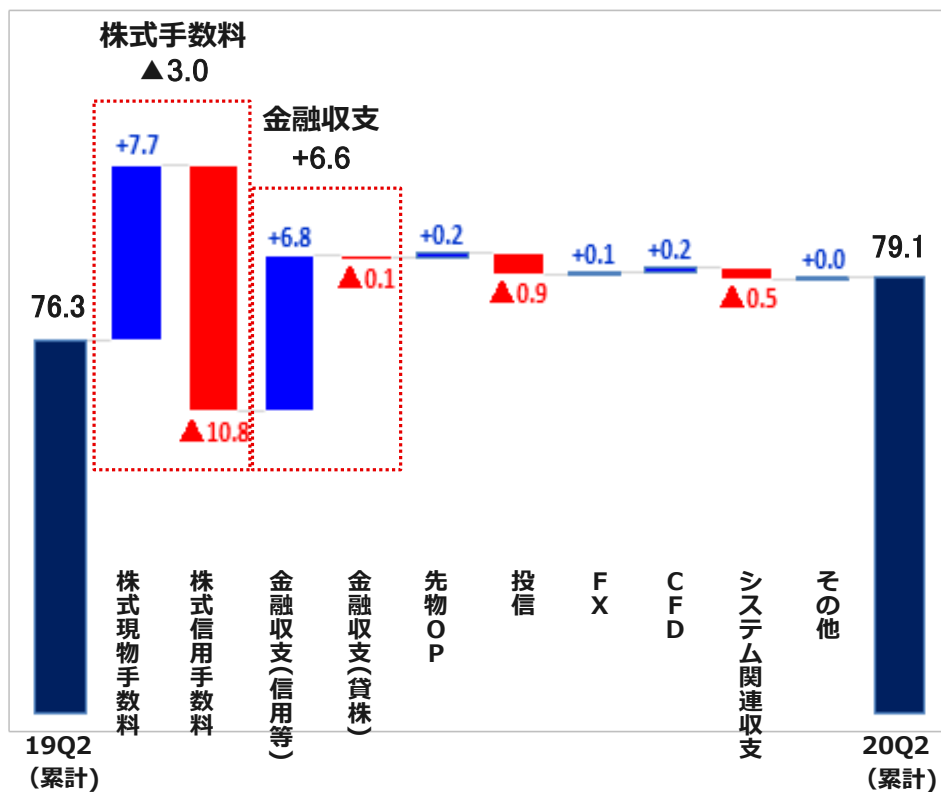
- 株式市場改善し、トップライン増加。19年度上期比+0.3億円、+0.4%
- 販管費は20Q1の貸倒引当金繰入6.4億円があり、19年度上期比+7.8億円、+12.5%
- 当期純利益も上記引当（有税）と準備金積増しもあり19年度上期比▲8.4億円、▲77.0%

(億円)	19上期	20上期	増減額	増減率
営業収益	95.3	95.7	+0.3	+0.4%
純営業収益	76.3	79.1	+2.8	+3.7%
販管費	63.0	70.9	+7.8	+12.5%
営業利益	13.2	8.1	▲5.0	▲38.3%
経常利益	13.9	8.3	▲5.6	▲40.6%
当期純利益	11.0	2.5	▲8.4	▲77.0%
市場(億円)				
株式等個人委託売買代金/日 前同比(前年度上期比較)	9,346	14,159	+4,813	+51.5%
信用買残高/週次平残 前同比(前年度上期平均比較)	22,009	21,386	▲623	▲2.8%

- 市況改善、純営業収益は+2.8億円
- 市況改善も、信用手数料無料化により株式委託手数料(現物・信用) は▲3.0億円減少

純営業収益増減内訳(億円)

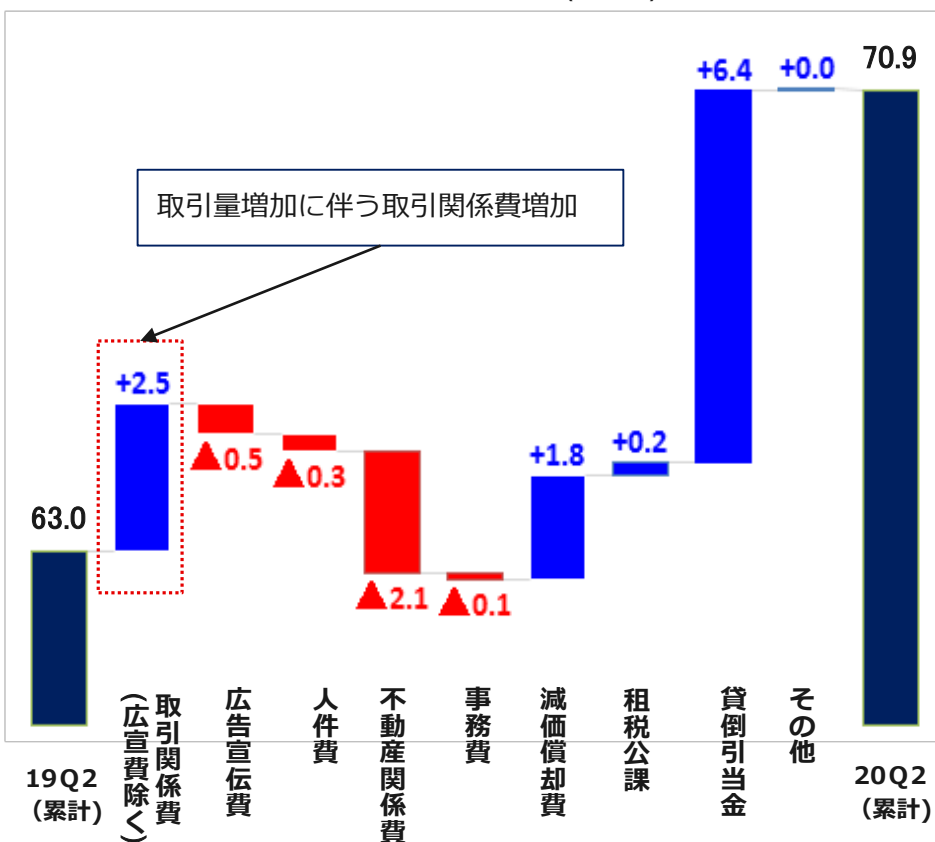
純営業収益内訳構成(億円)



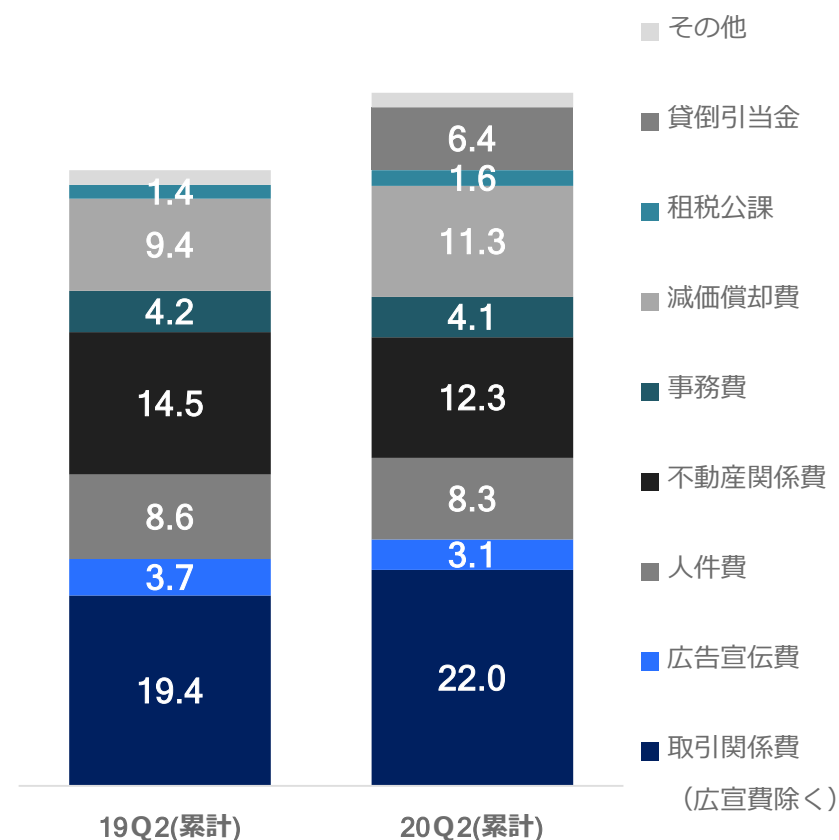
※ 第二小数点以下切捨のため、増減は完全に一致はしない

- 取引量増加に伴い取引関係費増加も、他販管費は抑制実施
- 全体で19Q2累計比+7.8億円の増加。主な要因は、20Q1の貸倒引当金繰入+6.8億円

販管費増減内訳(億円)



販管費内訳構成(億円)



※ 第二小数点以下切捨のため、増減は完全に一致はしない

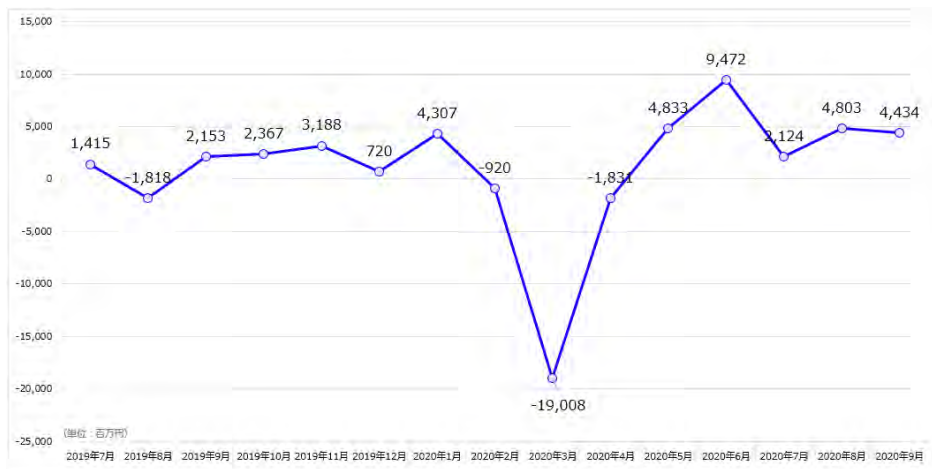
※ 不動産関係費 = 不動産費(支払家賃) + 器具備品費(システム経費)。減価償却費は、システム投資によるものが主

- 信用評価損益率(買残)の二市場全体較差は縮小、当社の評価損益率(買残)は高水準を維持。
- 実現損益(月平均)は、現物・信用ともにコロナの落ち着きを取り戻し昨年並みに。

＜二市場全体とauカブコムの信用評価損益率(買残)の推移＞



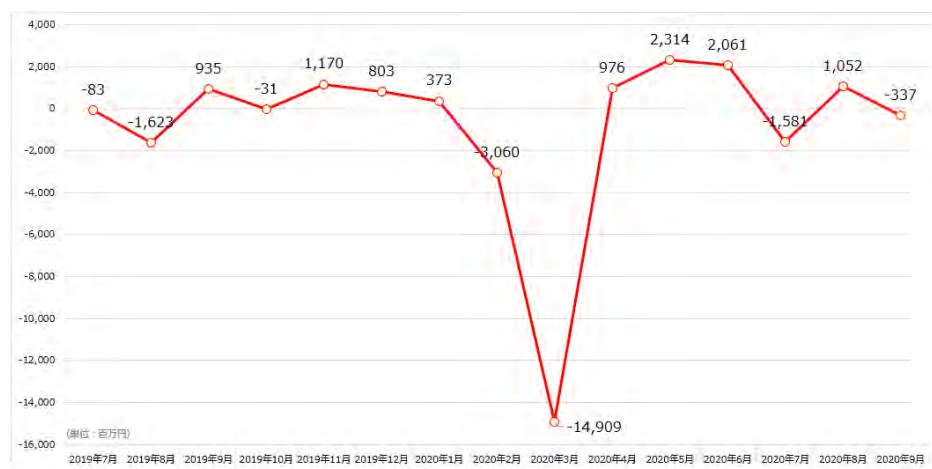
＜現物株式の実現損益(月平均)の推移＞



＜信用評価損益率(買残)二市場全体との較差の推移＞



＜信用取引の実現損益(月平均)の推移＞



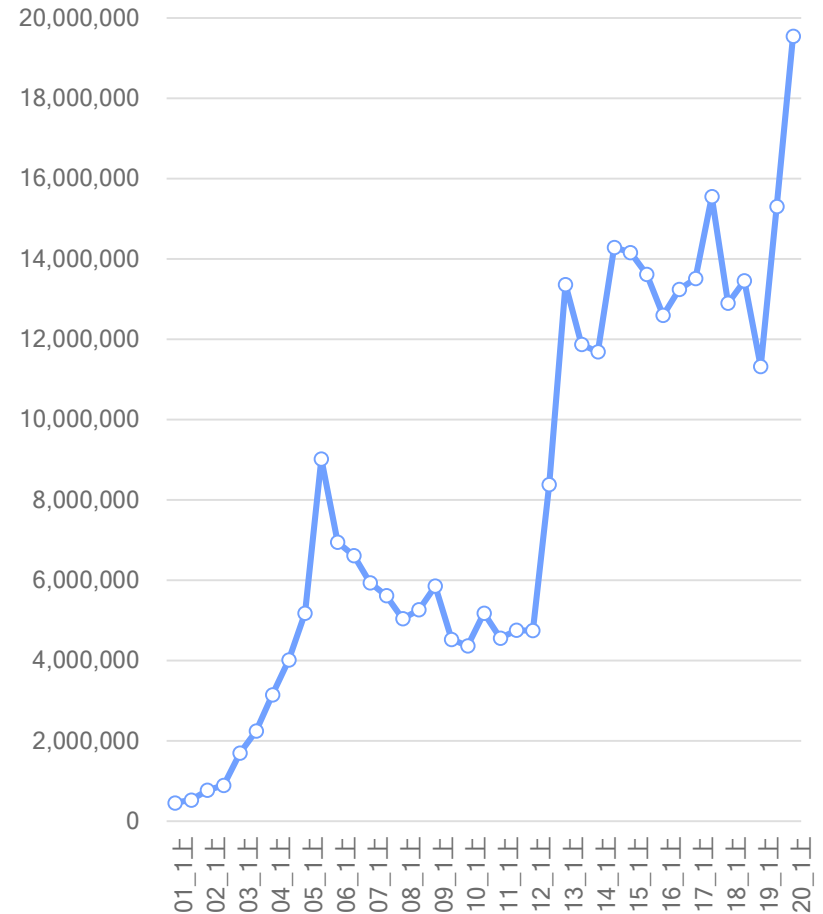
※取引所公表数値等より当社作成。データは一般信用を含んだデータです。

■ 20年度上期は約定金額・約定件数共に、創業以来の最高値を記録。約定件数はダントツ！

<当社株式の約定金額の推移（半期毎・百万円）>



<当社株式の約定件数の推移（半期毎・件）>



※「日本オンライン証券」創業は1999年4月だが、一貫性のある2001年4月からのデータを表示。同月以前のデータは別系統で当社内で検証済み。

- 下記統計の「仲介口座」の大半はKDDI/auじぶん銀行からの口座が占める。
- KDDI/auじぶん銀行でのプロモーション・当社協働プロモーションの強化により、獲得口座の急拡大を達成。

- ☆6月：「auマネーコネクト優遇プログラム」の開始（口座連携で金利100倍にアップ）
- ☆7月：最低2.4万円の投資信託保有でポイント還元するauカブコムの資産形成プログラム開始
- ☆9月：ポイント投資（ポイントで投資信託購入）提供、ポイント投資デビュー応援キャンペーン

<当社の月ごと総合口座開設数の推移と仲介口座の比率推移>



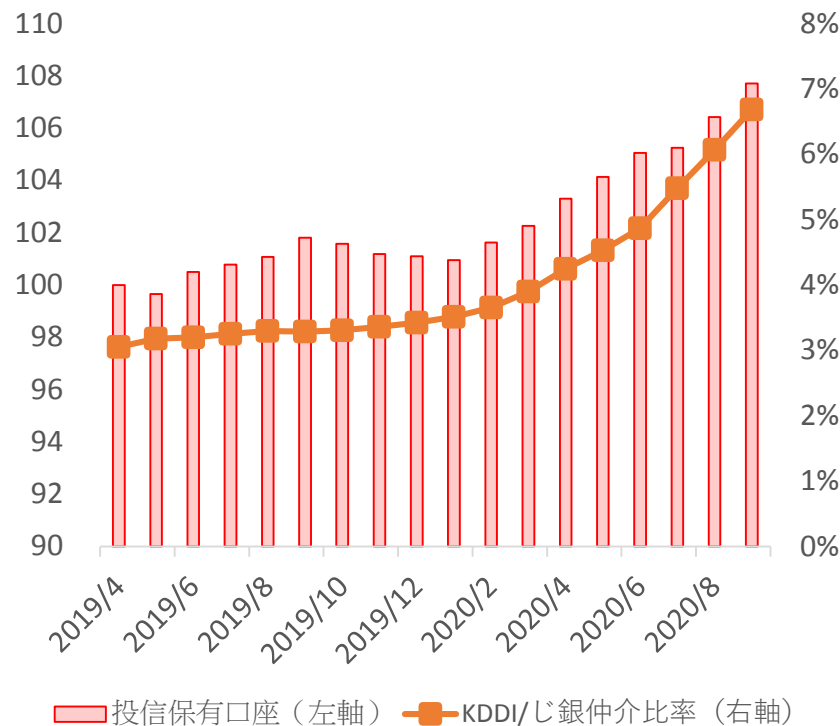
■ 2020年初頭よりKDDI、auじぶん銀行での資産形成プロモーション効果やコロナ禍による資産運用ニーズの高まりにより、投資信託をお取引されるお客さまが増加傾向。

☆6月：投資信託つみたてデビューキャンペーン

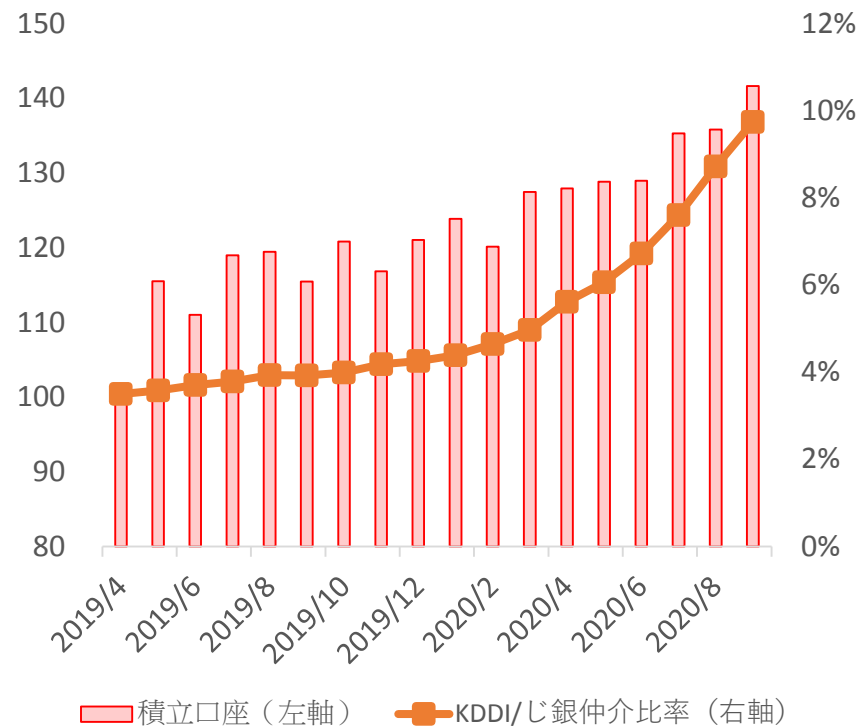
☆7月：最低2.4万円の投資信託保有でポイント還元するauカブコムの資産形成プログラム開始

☆9月：ポイント投資（ポイントで投資信託購入）提供、ポイント投資デビュー応援キャンペーン

＜投資信託保有口座の推移とKDDI・auじぶん銀行仲介比率＞



＜投資信託積立口座の推移とKDDI・auじぶん銀行仲介比率＞



※図1及び図2の口座数は、2019年4月を100とした2020年9月までの推移を表しています。

- 国内証券唯一となるREST APIによる高速発注環境を個人投資家向け無償提供
- 業界初となる投資信託のAPI/シストレFXのAPIを開放・3rdParty13社と開発覚書締結

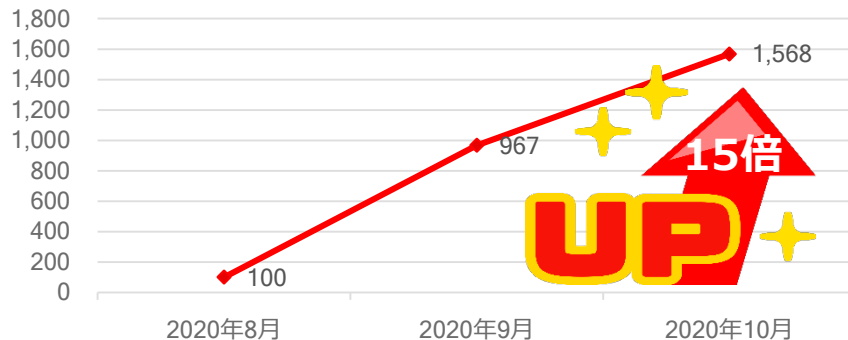
個人投資家向けAPIの無償開放

個人投資家のお客さま向けのREST形式でのAPI(Application Programming Interface) 発注環境（現物株式・信用取引・先物オプション取引）として「kabuステーション® API」を無料で提供開始いたしました。Pythonをはじめとした開発言語に柔軟に应答するWebアーキテクチャに特長を持つREST（Representational State Transfer）形式を採用いたしました。当社エンジニアによるサポートやお客さま同士のナレッジ共有を目的にGithub上にエンジニアコミュニティを展開しております。



kabuステーションAPI経由での売買代金推移

（1日当たり平均売買代金～開始月の2020年8月を100とする値）



サービス開始後の2020年8月21日以降～2020年10月19日約定分までの実績値にて集計

kabu.com API ラインアップ^o拡充

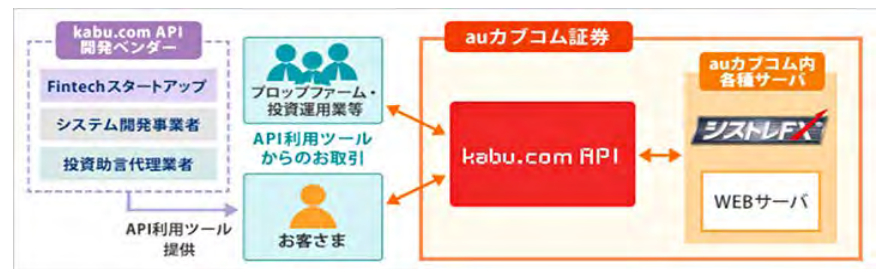
<投資信託の販売機能のAPI開放>

昨今成立した改正金融商品販売法における金融サービス仲介業者等との幅広い協業も視野に国内金融機関では初めて、第一種金融商品取引業者としての投資信託の販売会社機能を参照系・および更新系APIとして開放いたしました。



<シストレFXのAPI開放>

「シストレFX」（外国為替証拠金取引）のAPIを開放し、有力サードパーティ事業者13社との使用許諾契約を締結いたしました。



- KDDI×auカブコム証券、投資信託でPontaポイントが「たまる」「つかえる」（7月・9月）
- 他社とは一味違う最先端SOR機能（最良気配を検知）を利用したPTS信用取引を開始（7月）

Pontaポイントで「ポイ活」

＜国内最大級の共通ポイントサービス「Pontaポイント」提供開始＞



＜たまる＞「資産形成プログラム」提供開始（7月～）

- ・投資信託の残高を月間平均24,000円以上で毎月Pontaポイントを獲得。
- ・月間平均保有額が3,000万円以上のお客さまに約5倍のPontaポイントを付与。
- ・年間のポイント加算上限の設定もないため、多様なお客さまの資産形成に寄与。

＜つかえる＞「ポイント投資」提供開始（9月～）

- ・Ponta提携店サービスや「au PAY」利用でたまったPontaポイントが利用可能。
- ・「1ポイント= 1円相当」としてご利用することが可能。

- ・「au PAY アプリ」からの利用が可能に（2020年11月以降）
- ・投資信託以外でもPontaポイントが利用可能に（2021年以降）

PTS信用取引（制度・一般）を提供開始

国内株式の信用取引において、PTS市場の「チャイエックス・ジャパンPTS」と「ジャパンネクストPTS」での信用取引を開始。



メリット1：最先端のSOR機能を無料で利用可能

常に他市場の気配を検索し、東証よりも有利な気配が発生した場合に再度SOR判定を行う機能を無料で利用可能。

メリット2：約定価格の改善（価格改善効果）を期待

「実際の約定金額」と約定時点の東証立会市場の気配価格から算出した「想定約定金額」から、信用取引における投資成績の向上が期待できる。

メリット3：約定確率の向上を期待

SORを利用した場合、複数市場に注文を回送するため、取引所単独で発注した場合と比べ約定する確率の向上が期待できる。

- 9/16他の証券会社の不正アクセスによる資金流出を受けての速やかな調査と対応を実施
- コールセンターがHDI「問い合わせ窓口格付け」において最高ランクの「三つ星」を獲得

不正アクセスに対するこれまでの対応と今後の予定

9/16	WEBでの出金先口座登録・変更手続きを停止、書面による手続きと「お客様サポートセンター」での手続きに限定。
	7/1～9/16にWEBでの出金先口座登録・変更手続き（10,005件）を特定し、お客さまの影響を調査開始。
9/17	IPアドレス情報等を総合リスク管理プラットフォーム「CRISP」で、過去1年間のアクセス状況と照合する方法で、お客さまへの影響がないことを確認。
9/30	出金パスワード設定を6桁以上16桁までの英数字（大文字・小文字）に記号「@#\$%^&* _+-=:;,」を追加。
	お客さまの基本情報の中で、郵便番号、ご住所、生年月日、ご利用金融機関の口座番号の一部のマスク化を実施。
10/15	9月30日の対応に加え、お客さま基本情報のご登録の電話番号、FAX番号、メールアドレスについてもマスク化の拡大。
	出金依頼時に、登録した通知先メールアドレスにお知らせの配信を開始。
10/22	電話番号やメールアドレスを変更する際に、新たにマスク化した現在の電話番号かメールアドレスの入力が必要とする改修を実施。

■ ～2020年12月末までの対応：二要素認証を導入、マスク化を継続予定

■ 2021年以降の対応：多要素認証を導入予定

HDI-Japanによる証券業界調査



評価コメント

- ・丁寧に進んで支援してくれるので安心してサポートを受けることができる。
- ・きめ細かく案内してくれるので理解しやすい。
- ・電話はつながるまでのレスポンスが早く、最短の時間で疑問点を解消できる。
- ・初回コンタクトで十分に解決でき、充実した説明なので満足度が高い。

問い合わせ窓口格付けについて

HDI（ヘルプデスク協会）の国際標準に基づいて設定された評価基準に沿って、審査員が顧客の視点で評価。

評価基準はサポートポータル(Web)5項目、クオリティ(品質)5項目、パフォーマンス(実績)5項目の、計15項目より構成されており、それぞれの評価得点の平均値から三つ星、二つ星、一つ星、星なしの4段階で格付け。

日付	タイトル
7月6日	auカブコム証券、PTS信用取引開始のご案内
7月7日	業界初！投資信託の販売機能をas a service化しAPI開放
7月10日	J1リーグ再開！浦和レッズを応援しようキャンペーン実施『ONE HEART TOGETHER！』
7月14日	投資信託運用レポート等のデジタル・トランスフォーメーションへの取り組み
7月20日	auカブコム証券×KDDI、Pontaポイントがたまる「auカブコムの資産形成プログラム」を提供開始
8月17日	「マネックス・アクティビスト・ファンド（愛称：日本の未来）」の取扱いを開始
8月19日	kabu.com APIが「シストレFX」に対応・13社と使用許諾契約を締結
8月19日	国内証券唯一となるREST APIによる高速発注環境を個人投資家向け無償提供
9月10日	HDI主催「問い合わせ窓口格付け」において最高ランクの「三つ星」を獲得
9月23日	他社の資金流出を受けて当社の状況と対策方針
9月24日	auカブコム証券×KDDI、Pontaポイントで投資信託購入が可能な「ポイント投資」を提供開始

https://kabu.com/company/pressrelease/20200707_1.html

業界初！投資信託の販売機能をas a service化しAPI開放
 ～金融サービス仲介業者等の協業によるオープンイノベーションを加速～

2020年7月7日 お知らせ

auカブコム証券株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：齋藤正勝、以下「auカブコム証券」）は、Fintechベンチャーをはじめとする様々なサードパーティ事業者との高度なサービス連携を実現するプラットフォームとして成長を続けてきたkabu.com APIの利便性をさらに向上させ、昨今成立した改正金融商品販売法における金融サービス仲介業者等との幅広い協業も視野に、2020年7月8日（水）（予定）に株式取引、先物・オプション取引に続く提供商品として、国内金融機関では初めて（※1）、第一種金融商品取引業者としての投資信託の販売会社機能を参照系・および更新系APIとして開放いたします。

この度の投資信託のAPI開放を記念し、ご利用を検討される事業者様向けに「今後の投資信託普及のためのDX展開について」と題した説明会をオンラインにて開催します。

【投資信託のバリューチェーンにおけるkabu.com API提供のイメージ】



※1 auカブコム証券調べ

https://kabu.com/company/pressrelease/20200819_1.html

国内証券唯一となるREST APIによる高速発注環境を個人投資家向け無償提供

～ Python～Excelまで幅広い開発環境に対応・個人投資家のトレード環境のDXを加速 ～

2020年8月19日 お知らせ

auカブコム証券株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：藤藤正勝、以下「auカブコム証券」）は、国内の証券会社としては唯一となる、個人投資家のお客さま向けのREST形式でのAPI(Application Programming Interface) 発注環境（現物株式・信用取引・先物オプション取引）として「kabuステーション® API」を無料※で提供開始いたします。

「kabuステーション® API」は、機械学習等で急速に普及の広がるPythonをはじめとした開発言語に柔軟に対応するWebアーキテクチャに特長を持つREST (Representational State Transfer) 形式を採用いたしました。このREST形式による応答する高い汎用性を持つ発注APIを提供することで、お客さまの多様な技術バックグラウンドやオープンソースコミュニティのナレッジ蓄積を生かしたオリジナルの投資アイデアによるシステムトレードを当社の高速トレーディング環境上で実現可能となります。

この度の個人投資家向けAPIの提供開始を記念し、2020年8月21日（金）から、2020年12月30日（水）まで、「kabuステーション® API」経由の現物株式取引手数料を実質月額定額（3,960円（税込））に、信用取引の買方金利をダイヤモンドプラン（手数料無料・買方金利1.69%～）を適用の上、さらに信用日記り取引の買方金利を実質無料（キャッシュバック）にする「システムトレードデビュー応援！『API副』キャンペーン」を実施いたします。

kabuステーション® API 提供機能の概要

kabu STATION API

項目	概要
対象商品	国内株式（現物・信用）、先物・オプション取引（2020年10月予定）
利用料金	無料※
提供API	<ul style="list-style-type: none"> 情報系：時価情報、銘柄情報、4本値、板情報 発注系：成行・指値（IOC・SOR）等 参照系：注文照会、約定照会、残高照会
API形式	REST（発注系・参照系）、PUSH（情報系）

※ kabuステーション® Fintechプラン以上の適用となること（信用口座開設かつ前月1回以上の取引にて無料）

https://kabu.com/company/pressrelease/202009_003.html

他社の資金流出を受けて当社の状況と対策方針

2020年9月23日 お知らせ

2020年9月16日に他の証券会社において悪意のある不正アクセスにより、お客さまの資金が流出する被害が発表されたことを受けて、WEBでの出金先口座登録・変更手続きを停止いたしました。

当措置によりお取引にご不便をお掛けしており、誠に申し訳ございません。あらためまして、お客さまへの影響の調査結果や、当社のこれまでの対応、今後の対策を報告させていただきます。

これまでの対応

■ 2020年9月16日（水）

15時ごろ、当該証券会社より不正アクセスによる資金流出の発表があり、当社では15：05に経営層の指示により、当社のお客さまへの影響調査を開始するとともに、WEBでの出金先口座登録・変更手続きの停止準備を開始、また、有効な不正アクセスの対策のため情報収集を行ないました。

同日22：25にWEBでの出金先口座登録・変更手続きを停止、書面による手続きと「お客様サポートセンター」での手続きに限定し、お客さまへのご案内を当社WEBサイトに掲載いたしました。

また、2020年7月1日～9月16日の期間において、WEBで出金先口座登録・変更をされたすべての手続き（10,005件）を22：51に特定し、お客さまの影響を調査いたしました。

■ 2020年9月17日（木）

前日に特定された10,005件の手続きを行なったユニークなIPアドレス（インターネットにアクセスする機器がもつナンバー）情報等を、当社の要件で共同開発した総合リスク管理プラットフォームである「CRISP(comprehensive risk management platform)」によって、IPアドレスを持つお客さまの過去1年間のアクセス状況と照合することで、当該期間に不正なアクセスがあったかを確認するという方法で全件調査を実施いたしました。

そして対象の手続きを行なった全件調査が16：41に終了し、すべてにおいてお客さまへの影響がないことを確認した上で、お客さまに当該証券会社のような不正アクセスによる資金流出といった事象の確認はなかった旨の報告を行ないました。

- 企業・開示情報 <https://kabu.com/company/>
- 決算短信・決算説明資料 https://kabu.com/company/disclosure/accounting_line.html
- 口座数・約定情報等の推移 https://kabu.com/company/monthly_disclosure/order/default.html
- 顧客投資成績（信用評価損益率）の推移 https://kabu.com/company/monthly_disclosure/score/default.html
- システムレポート https://kabu.com/company/monthly_disclosure/system/default.html
- 店頭FX取引に係るリスク情報に関する開示 https://kabu.com/company/disclosure/fx_risk/default.html

■お取引にあたってご注意いただきたい事項

各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。当社ホームページにて取引内容、リスク等の説明内容事項をご覧ください。

※証券投資は、価格変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込む恐れがあります。自動売買を含むすべてのご注文は必ず約定するものではありません。

お取引の際は、目論見書、約款・規程集及び契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、商品特性やリスク及びお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。

※投資信託の購入は、基準価額の変動により元本を割り込み損失を被ることがあります。ファンドにより販売手数料とは別に、信託報酬・解約手数料・その他手数料等を要するものがありますが、各ファンド別に要件・料率等が異なりますので表示できません。お取引に際しては、目論見書商品毎 および目論見書補充書面投資信託をよくお読みください。

※信用取引・指数先物取引・指数オプション取引は、保証金または証拠金以上のお取引が可能であるため、保証金または証拠金を超える 大きな損失を被ることがあります。又、取引期限があり取引期限を越えてのお取引はできません。

※外国為替証拠金取引FXは、取引金額がお客さまが預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっており、投資額以上の損失が生じる可能性があります。

又、外国為替証拠金取引は元本や利益を保証するものではなく、為替変動リスクや金利変動等のリスクを伴います。本取引において当社が提示する売値と買値の間には差額があります。

※外国債券の価格は、金利水準の変動により上下するため、償還前に売却する場合には、元本損失が生じることがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに対する外部評価の変化等により、損失を被ることがあります。外国債券は、為替相場の変動等により、元本損失が生じたり、債券を発行する組織発行体が所属する国や地域、取引がおこなわれる通貨を発行している国や地域の政治・経済・社会情勢に大きな影響を受けたりするおそれがあります。外国債券を購入する場合は、委託手数料はかかりませんが、売買における売付け適用為替レートと買付け適用為替レートには差額があります。上記、適用為替レートは債券の起債通貨によって異なり、実勢レートに基づき当社が決定します。

※お取引に際しては、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、商品特性やお取引ルール等をよくご理解の上、ご自身のご判断で無理のない資産運用を行ってください。

※各商品等へのご投資には、商品毎に所定の手数料等が必要です。詳しくは当社の手数料ご案内ページ<https://kabu.com/cost>等をご参照ください。手数料には消費税が含まれています。

※掲載情報の最新情報は当社ホームページ<https://kabu.com/>にてご確認ください。

◆ご投資にかかる手数料等およびリスクについてはこちらをご参照ください。 <https://kabu.com/company/pressrelease/info/escapeclause.html>